

2. 財政状況について

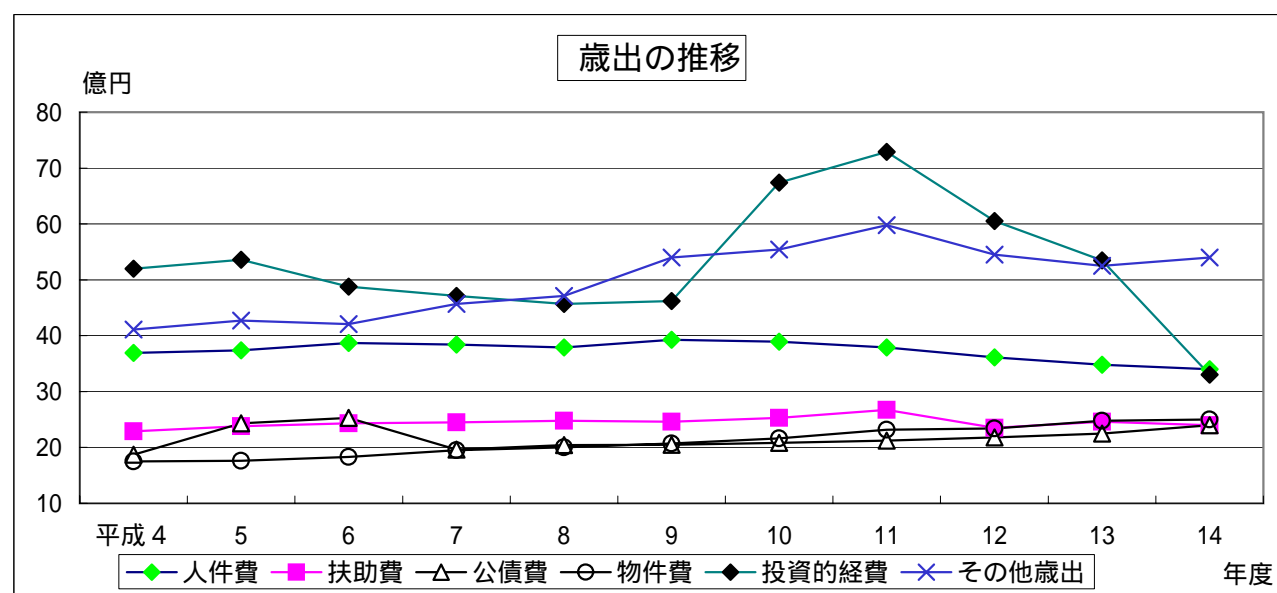
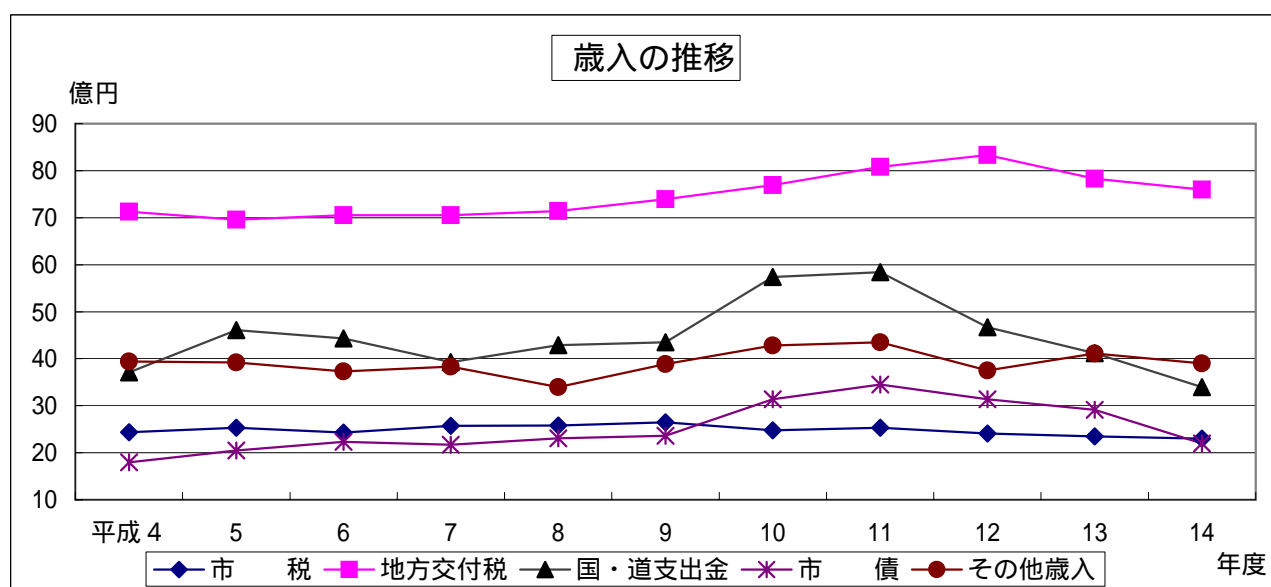
美唄市の財政は、市税収入などの自主財源が少ないため、国から交付金である地方交付税に大きく頼る構造になっています。

これまで、人件費の縮減や事業の見直しなどに努めてきましたが、長引く景気の低迷等による市税の減収、人口減少に伴う地方交付税の減額などにより苦しい財政運営となっています。

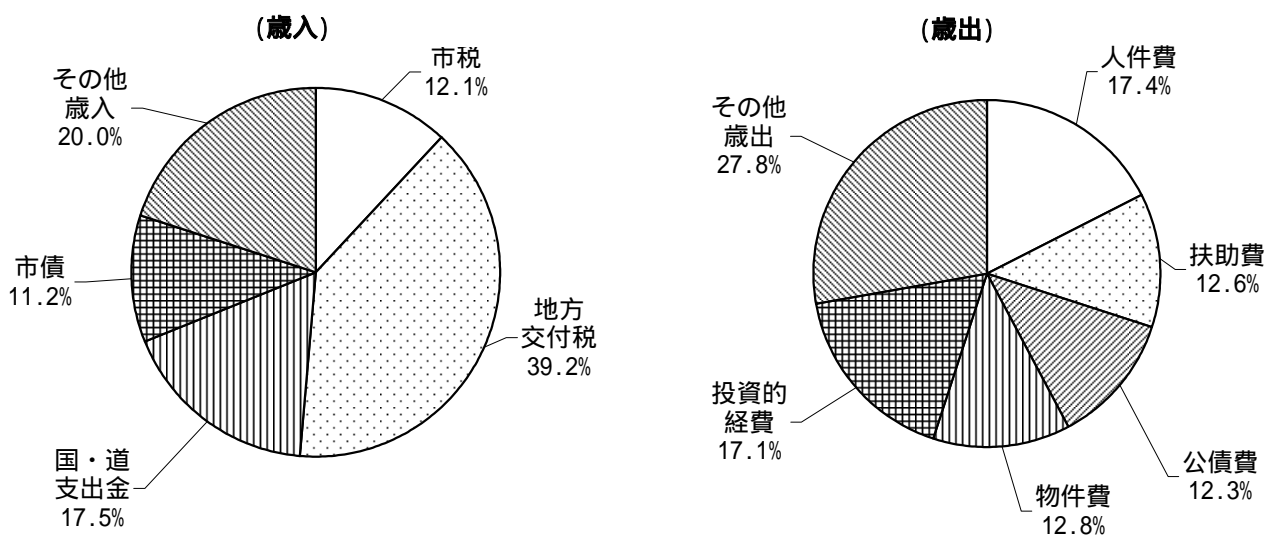
現状のままのサービスや事業のやり方を続けると、毎年、10億円以上の赤字となり、財政は破たんします。

このため、収支不均衡の改善はもとより、21世紀まちづくりプランの着実な推進のため、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる健全な財政構造を目指し、財政健全化推進計画（H15年度～H17年度）を策定し、現在取り組んでいるところです。

* 決算数値は普通会計（一般会計、市民バス会計、土地区画整理事業会計）ベースで集計。



平成14年度決算の状況

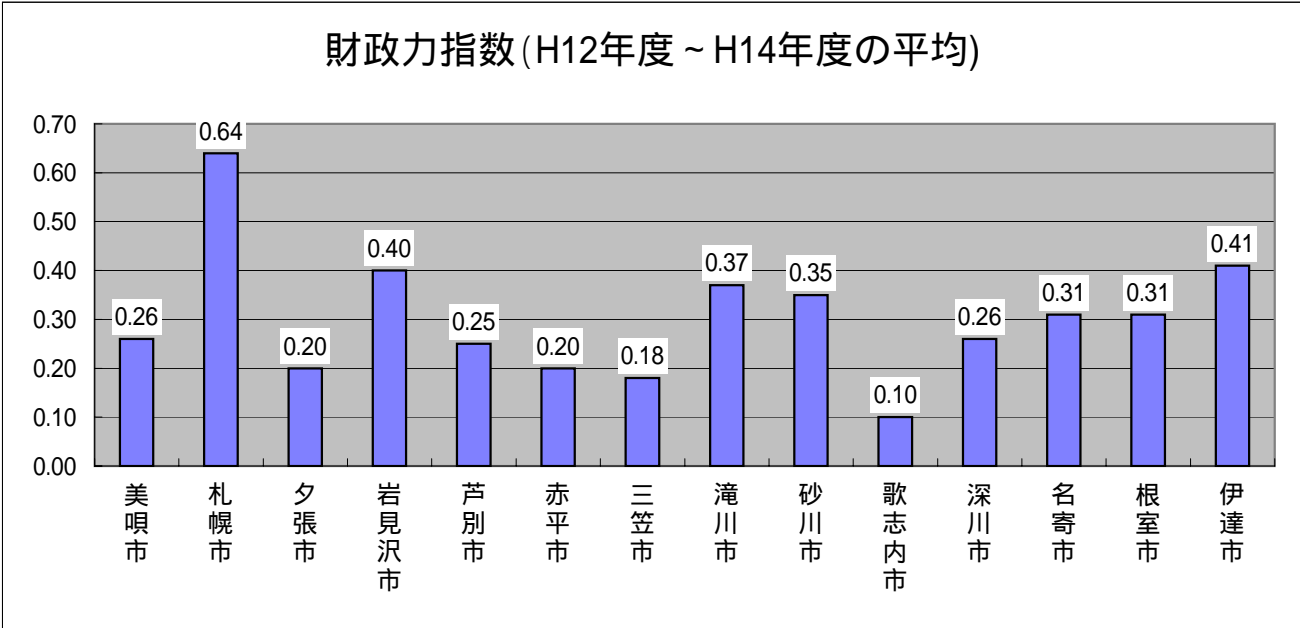


* 決算数値は普通会計(一般会計、市民バス会計、土地区画整理事業会計)ベースで集計。

財政指数比較

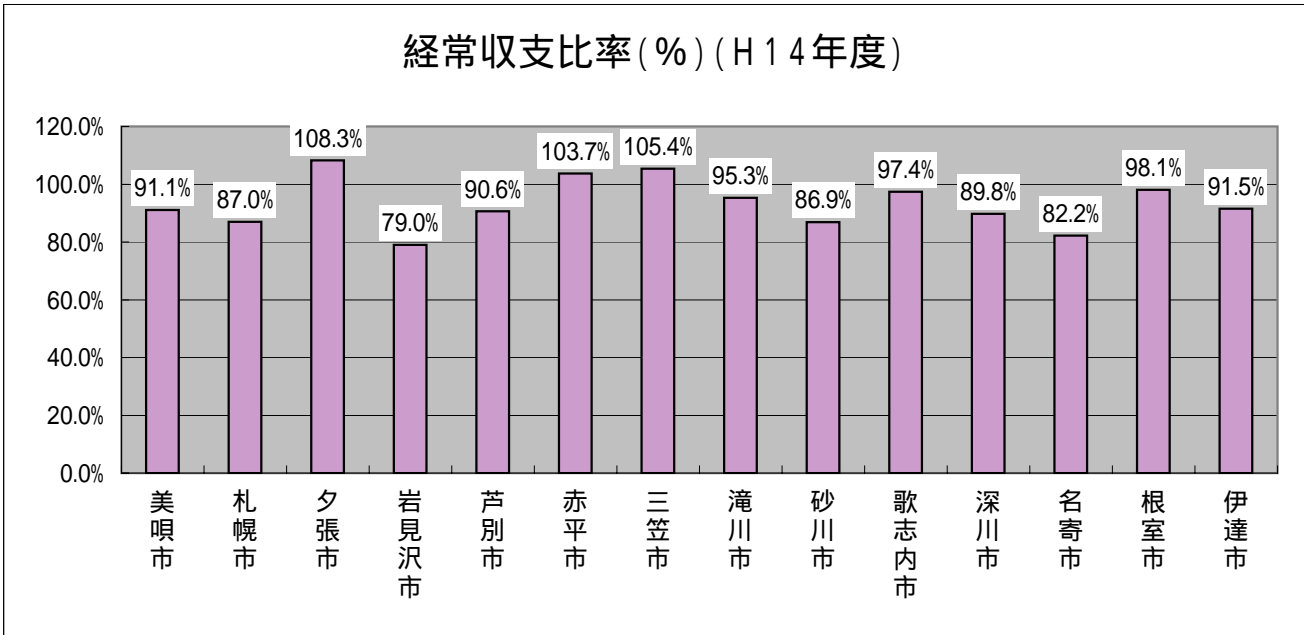
財政力指数(3か年平均)

財政力を測定する尺度です。
標準的に必要な財政需要に対して、税収入がどれだけあるかを示す指標で、この指数が高いほど財政力があることとなります。



経常収支比率 (H14年度)

経常一般財源収入に占める経常的経費に充当された一般財源の比率です。80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといわれています。



起債制限比率 (3ヵ年平均)

一定の算式により、地方債の元利償還に要する一般財源の状況を示す指標で、地方債の許可制限基準となる指標です。
20%以上になると地方債発行にあたり一定の制限を受けるほか、14%以上になると適正化の取り組みが必要となります。

